

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	自立した生活が送れるよう自力で出来ることは行うようにしている。役割を持って家事などを行っているが、活躍出来る機会が少ない方もいる。	出来る事はできるだけ利用者にしてもらい活躍の場を作る。 地域行事(秋祭り等)の参加を継続していく。 家族との交流する機会を増やすようにする。	生活の中で家事など個々に役割を持ってもらう 家族交流会を年一回の開催を継続。行事への参加をしてもらうようにする。地域行事への参加の継続 理念について職員会議での振り返りの時間を作る。	12ヶ月
2	6	車の往来もあり、玄関など危険防止のためにやむを得ず閉めることはある。	行動を抑制するような言葉かけがあれば職員同士で注意をし意識を持つ	外部研修や勉強会を行っていくことで、職員一人ひとりの意識を高める	12ヶ月
3	7	業務、利用者の対応で職員の精神的負担が大きい時もあり、会議等で職員の日頃の抱かえる問題点を話し合う機会が少ない。	虐待に繋がらないように職員間でのコミュニケーションを持つ機会を増やす。	職員会議での日頃の介護業務等についての話し合いや、外部研修、勉強会を行っていく。	12ヶ月
4	10	家族来所時に個別に意見や要望を聞く機会があるが、時間を設定し、家族、職員全体で話す機会があっても良いと思う。	意見、要望は運営に反映させるようにする。	交流会年に1回以上は家族が集まる機会を作り、家族、職員とが話し合い、意見や要望を聞くようにする。又、意見、要望を聞いた際にはその都度職員間で話す機会を持つようにする。	12ヶ月
5	35	周辺施設の連携との連携は取れるようにしているが、地元地域との連携等話す機会が少ない。火災についての避難訓練のみ行っている。	災害対策マニュアルを作成	マニュアルの周知徹底。地元地域との連携を取れるよう話す機会を作る	6ヶ月
6	36	自己評価表にて毎月コメントを各自記入している。全体で話し合う機会が少ない	一人ひとりの尊重とプライバシーの保護に対する意識を向上する	一人一人が意識をもった対応をし、自己評価票に記入することを継続する。また、そのことについて職員会議等で話し合いを行う	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。